

電子情報「面接指導」を終えて・・・

思いがけない質問から『ヒト』は見られている

ゲーム応用学科 2年 今野 向陽

私は面接指導を迎えるまでに、いくつかの企業で採用試験を受けていました。その結果、3月末に、東京にあるIT系企業から内定を頂いています。

今回の面接指導を受けるにあたって私が重点を置いたのは、「経験からの成長」です。

面接では「思いがけない質問」を受け、悩む場面がありました。しかし、この「思いがけない質問」に対応できない自分は、まだ面接を受ける準備が足りないと感じました。準備をする期間が短いというのは、言い訳にしかありません。皆同じ条件で戦っています。その中で、他の応募者に「どれだけの差をつけることができるか：差異化」、これが内定への第一歩であり、就活攻略のカギになっていると思います。

これから就職試験に臨む皆さんへ私がアドバイスするとしたら、「企業が求めているのは技術ではなく、ヒト」ということです。実際に、面接では技術面に関して質問されることは少なく、「人間性重視」で面接を進めていく企業が多いと感じました。

企業は、一緒に働きたいと思える人を求めています。面接までコマを進めることが出来たら、思う存分に自分らしさをアピールしてください。

「就職活動に対する意識」が変わった

映像・音響デザイン学科 2年 植田 和華

今回の面接指導で私が最も学んだことは、「就職活動に対する意識」です。2年生になったばかりで「さあ、就職活動をしましょう！」と言われても、なかなかスイッチが入らないというのが現実でした。今回の指導で、就職活動に対する意識が大きく変わり、「自分が“自己実現”を果たすためには、いち早く就職活動に打ち込み、その一歩を踏み出す必要がある」ことに気付きました。

私は映像業界への就職を志望しており、その想いから本学に入学しました。その想いを実現させるには、技術力向上のため人一倍努力をすることはもちろんですが、「人としての成長」も必要になります。面接指導が終わった直後、応募先企業から、提出したポートフォリオに関する評価が届きました。結果は良いものではありませんでしたが、企業の方から「ここはこうした方が良くなるよ」というフィードバックも頂くことが出来ました。そのコメントによって、現在の自分に足りないものが自覚でき、「今から何をしていかなければならないのか」が明確に見えるようになりました。自分の技術力をもっとアピールできるようにポートフォリオの内容を充実させ、また、自分の「志」もうまく伝わる「履歴書」や「面接」とするために何度も練習を繰り返し、自分を売り込めるように鍛えていきたいと考えています。

今回の面接指導で学んだことを今後に活かし、第一志望の企業から内定を頂くことを目指して頑張っていきます。



平成29年度「学生会役員」紹介



学生会会長 総合福祉学科 3年 若月 竜次

平成29年度学生会会長を務めさせていただくことになりました。

会長として、限られた学校行事を学生一人ひとりが楽しい思い出しとして残せるように、良いアイデアを出したり、行事が円滑に進行するよう努力し、盛り上げていきます。

学校生活では、学生の模範になれるよう、日々の生活から自覚と責任を持ち過ごしていきます。

学校全体を引っ張り、上手くまとめていけるか不安はありますが、精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

学生会副会長 ゲーム応用学科 2年 今野 向陽

今年度、学生会副会長を務めさせていただくことになりました。

私は今年から学生会へ参加したため、今まで学生会の方々がどんなことをしていて、これまでにどのような功績を残されているかさえ分かりません。

しかし、この度、副会長を務めさせていただく貴重な機会を、皆さんから頂きました。副会長として何か足跡を残すことが出来るように、経験を積み、皆さんが充実した学生生活を送れるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。

学生会副会長 総合福祉学科 2年 望月 亜純

今年度、学生会副会長を務めさせていただくことになりました。

副会長としての責任に少々不安がありますが、精一杯、学生会会長をサポートしたいと考えています。そのために、周りの意見を聞き、自分の考えを積極的に発信できるようにしていきます。

文化祭などの学校行事を自らも楽しいと思えるように盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。

春季スポーツ大会開催（H29.5.16）

スポーツ大会を通して得たもの

総合福祉学科 2年 竹下 柚紀

昨年は参加するだけのスポーツ大会でしたが、今回は学生会と一緒に事前準備から加えてもらい、学ぶことが多くありました。準備する際、先輩方のしっかりとした計画と、適切な指示により、戸惑うことなく動くことができ、改めて事前準備の大切さを感じることができました。さらに実施した競技が、視覚に障害のある私のクラスメイトもサポート次第で参加が可能なキックベースということで、彼がキッカーとなった時には声で合図を出したり、一緒に一塁ベースまで走ったり、合同チームになった3TWの先輩方もサポートしてくださり、全員参加の雰囲気と、達成感を味わうことができました。

今回、先輩方とサポート方法を話しているときに自覚したのは、自分はいつも指示待ちになってしまったり、自分の意見を伝えることができず、人に任せきりになっているということでした。これからの学校生活では、授業でのグループワークは自ら進んで役割を持ち、発言を増やせるよう意識して取り組みます。そして、秋のスポーツ大会では、さらに積極的に参加できるようにしていきます。



6月

の予定

6/1(木) A0 エントリー開始

6/2(金) 1CP「第一ひかり幼稚園職場体験」

6/7(水) "

6/11(日) 医療秘書検定

6/14(水) 学校学科・入試説明会(17:00～)

6/15(木) 2CW「面接指導」

6/16(金) ペン字検定

6/17(土) オープンキャンパス(13:15～)

秘書検定

6/26(月) 2TW・CW「第3期実習」(～7/29)

6/29(木) 2MIS「面接指導」



広報室より

高校の先生から見た就職活動のポイント

企画広報室 竹内学

みなさん、こんにちは。卒業年次の学生は就職活動が始まり、勉強と就活に日々頑張っていると思います。

私たち広報の職員も高校を訪問する中で、高校の先生とよく進路選びについて話をします。高校生の場合ですと、進路が就職と進学に分かれますが、先生方がどちらの生徒に対しても共通して強く伝えていることがあります。

それは「進路選びの先に自分がどうなりたいかをしっかり考えてほしい」ということです。

就職でも進学でも、自分の興味のある分野や好きなことができる進路先を選ぶことが多いと思います。それが、何となく決めたものだったり、受かりやすいから、条件がいいからなど、その場の気持ちで決めてしまうと、進学・就職した後に「こんな大変だと思わなかった。こんなはずじゃなかった」となり、毎日がつらい日々になってしまう生徒を多く見てきたそうです。

近年、新卒者の3年未満の退職率は大卒 31.9%、高卒 40.9%で、おおよそ3人に1人が転職せざるを得ない状況に陥っています。

企業の中には新卒しか採用しないケースも多く、一度退職してから転職する際は在職中のスキルや経験等を重視するケースも多く、新卒時よりも確実に難易度が上がります。

新卒時の就職活動は、人生の中でも数少ない良い職場を見つけるチャンスです。

就活は大変なことも多いかと思いますが、少しずつでも挑戦し続ければどんな困難でも必ず乗り越えられます。自分らしい豊かな新生活をおくれるよう、一步一步でも確実に進んでいきましょう！



* オープンキャンパス開催日程 *

○体験入学、学校・学科説明会、なんでも相談会

⑤は、夏休みスペシャルオープンキャンパス

・6月17日(土) 13:15~15:45

・7月 8日(土) 13:15~15:45

⑤ 7月22日(土) 13:15~16:15

⑤ 8月 5日(土) 13:15~16:15

⑤ 8月26日(土) 13:15~16:15

○学校・学科説明会、なんでも相談会

・6月14日(水) 17:00~18:30

※7月・8月の【学校・学科説明会、なんでも相談会】は上記【体験入学】にて同時開催します。

クラブ活動紹介

男子・女子バレーボール部

毎週水曜日、長田南中学校で社会人チームと一緒に練習を行っています。

静岡県専門学校バレーボール大会において男子女子ともに、たびたびの優勝経験を誇る、上位入賞常連校です。

昨年の大会では『男子ベスト4』『女子3位』でした。今年の大会は1つでも多く勝ち、よい成績を収められるよう、男女ともに切磋琢磨しながら士気を高め、練習に励んでいます。

経験者・初心者、誰でも構いません。まず練習からという方でも構いません。楽しく練習し、良い汗をかきましょう。是非、練習への参加のほど、よろしくお願いします。



野球部

現在は、少人数で活動しています。学校生活やプライベートも充実できるよう、月1回、みんなの予定が合う日を選び活動しています。練習は、小学校のグラウンドを借りてみんなで汗を流しています。

初心者も多く、みんなが楽しく活動していますので、体を動かしてみたい人は是非参加してみてください。

夏には、静岡県専門学校の野球大会もあります。一緒に戦い、まずは1勝を目指しましょう！

入部希望の方は、3年総合福祉学科 若月まで！！



サッカー部

現在、部員と顧問の先生方と楽しく活動しています。練習は中田小学校グラウンドを借りて、メニューは自分達で考え練習しています。

また、部員同士の中もよく、部全体が和気あいあいとした雰囲気のととても良い部活です。

練習をおこなう中で、大変で辛い時もありますが、チームメイト同士で支え合い、助け合うことで、それらを乗り越え辛さ以上の達成感を感じることができま。その結果、大会では良い結果を残すことができました。

一人ひとり個性が強いですが、互いに共通意識をもって練習に励むことで、一つの目標に向かって頑張っています。これからも、「みんなで楽しく厳しく」をモットーにした高い意識をもって活動していきたいと思っています。

運動が苦手な人、初心者、経験者どなたでも大歓迎です。

一緒に魅力のあるチームを作りましょう。



バスケットボール部

現在は、在校生・OB・OGを含めた21名で活動しています。月に1回程度の活動のため、勉強やアルバイトに支障をきたすことなくスポーツをしたいという方にお勧めです。

初心者のメンバーも数多く在籍しているため、未経験者や運動が苦手な方も大歓迎です！

また、OB・OGとの交流も盛んなため、就職等の悩みの相談にも乗ってもらえます。

近日練習を行う予定のため、まずは一度参加してみてください。

参加希望の方は、3年総合福祉学科 岩本まで！！



進路室より

就活で 成長する ！

進路室長 橋野 幸男

本紙で西山昭彦『就活で求められる能力』の一部を紹介したことがあります。

(東京ガス→経営学博士→大学特任教授。「“第一印象”が決まるまで6分。面接を続けても“変わらない”が61%」という調査結果を引用)。

その同氏が、Web 連載「日経 College Café」で、『成長の方程式』として次のように書いています。

ー 私の学生成長の式は、こうだ。

「成長 = 教育・勉強 + クラブ・サークル + バイト + 交友 + 就活」

このうち、就活が一番人を成長させる。なにしろ、戦略を立て全力でぶつかって、最後に合否がくだされる。「ニコニコして受けてくださいって言われてES(エントリーシート)出したら、一発で落ちた」「グループワークで発言しようとしたら、××大生に遮られて、落ちた」などがごろごろ。これまでの人生でそんなシビアな機会はめったになく、この真剣勝負には真の学びがある。しかし、就活では、本番中なのでこの就活ネタは使えない。企業に出す話題も、ほかから探すことになる。ー

西山氏は「本番中なので … 使えない」としていますが、一方で、企業側が次のような質問で学生の資質を探っているという例もあります。

ー 物流の鈴与(静岡市清水区)の採用担当者は面接で「どんな就活してるの」と尋ねる。独自に工夫や勉強を重ねる学生は「仕事でも課題解決能力が高い」

(「静岡新聞」H.27.9.22、『就活しずおか 異常あり④“成長の資質”を見極め】ー

いずれにしても、「就職活動を通して成長する」「就活は、仕事のやり方を学ぶ絶好の機会だ」とは、多くの人が指摘していることです。物事に着手する前に計画を立てる、何が重要か優先順位を考える、つまりいたときにフォローアップする、相手に訴求したい点を分かりやすくまとめるー。すべてで、学生が成長する可能性があります。

「人の能力に大きな差はない。大事なのは、『良い習慣は、才能を超える』ということだ。就職活動中から良い習慣を身に付けければ、就職後の仕事もうまくいくはずだ」(元・東レ経営研究所社長 佐々木常夫氏のインタビュー記事から)。例えば、企業にアピールしたいことを履歴書やエントリーシートにまとめる作業は、社内の報告書や取引先向けプレゼンテーションの資料を作成することに通じます。どの企業等が自分に合うかを考え調べる作業も、取引先開拓や提携先を調査するときの行動に応用できます。

逆に言えば、就職活動という「考え、努力・行動する習慣」が身に付く機会を十分に活かさない者は、自分が成長できる絶好のチャンスを見逃していることになるのです。

さあ、地元中堅企業の「選考」が本格化する時期です。皆さんの果敢なチャレンジを期待しています。

